

平成16年冬季企画展

# 文様を描く心



文様に何を願い、何を託したか—古代の人の心をのぞく。

本館学芸員による

## ◎企画展セミナー

平成16年2月22日(日)

場所:1階ホール 時間:午後2時~4時(受付:午後1時~)

「文様を通してみる古代人の心」

平成16年

1月24日(土)~3月7日(日)

主催:大阪府立弥生文化博物館

## 大阪府立弥生文化博物館

- 開館時間:午前10時から午後5時(入館は4時30分まで) ●休館日:毎週月曜日
- 入館料:個人=一般400円(320円)、65歳以上・高大生300円[240円]、小中学生・障害者手帳を持つ方は無料 【( )内は団体料金 20名以上】
- 所在地:〒594-0083 和泉市池上町443 電話=0725-46-2162 FAX=0725-46-2165 <http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>
- 交通:JR阪和線「信太山」駅下車徒歩7分、南海本線「松ノ浜」駅下車徒歩20分 駐車場:普通車80台、大型バス7台無料



日本の文様史は、縄文時代から始まるというよいでしょう。弥生時代には土器、木器、青銅器などに様々な文様が描かれています。文様を描くことには、装飾、呪術、権威付けなどの目的がありました。

弥生時代の文様は、中国大陸や朝鮮半島からもたらされたものや、それと縄文系が融合したものが主流で、縄文時代から継承したものは少なかったようです。弥生の文様の一部は、政治的色彩が加わり、古墳時代に受け継がれました。

文様には人々のさまざまな考えや願いが反映されています。この展示会では、そうした人と文様とのかかわりを追究し、古代の人々はどのような思いを込めて文様を描いたのかをご紹介します。

### ◎弥生の文様◎

#### 【主な展示品】

- ◎鋸歯文を描く銅鐸、土器
- ◎双頭渦文を描く銅鐸、木製容器
- ◎流水文を描く銅鐸、土器

#### ●鋸歯文と双頭渦文を描く銅鐸

銅鐸は神の招来を願う祭器で、邪霊の侵入を阻止する鋸歯文や神聖さを表わす双頭渦文を描き、呪力の高まりを期待しました。



### ◎古代中国の文様◎

#### 【主な展示品】

- ◎饕餮文を描く青銅の壺、武器
- ◎民間信仰や宇宙観を表す鏡  
(神獸鏡、方格規矩鏡、画像鏡)
- ◎獸面を描く埴、青銅壺



#### ●光芒を表わす連弧文鏡

連弧文鏡は、弧を連ねた形で、内から外方に向かう放射状の光芒を描いた鏡です。光り輝く太陽や星を表現しています。

### ◎日本古代王権の文様◎

#### 【主な展示品】

- ◎直弧文を描く木板
- ◎直弧文を描く盾形埴輪

#### ●直弧文を描く木板

直弧文は日本古代王権が最も重視した文様です。所有者の格の高さや権威を象徴するためにこの文様を描きました。

